

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年06月28日

計画の名称	圏央道・新国道4号を軸とした茨城埼玉交流圏域活性化計画												
計画の期間	平成28年度～令和02年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	茨城県												
計画の目標	茨城県と埼玉県を東西に連携させる首都圏中央連絡自動車道の開通と、南北に連携させる国道4号(春日部古河バイパス)の4車線化整備は、両県の2つの主軸として効率的なネットワークが形成された。この交通流の変化を契機に、県域を越えた交流・連携した取組により地域の価値を高め、魅力あふれる圏域づくりを進めていくことにより、新たな観光ルートの設定や各観光施設間の連携強化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	10,362	A	10,362	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	【茨城県・埼玉県 共通目標】 観光入込客8,233千人(H26)から8,331千人(R2)に1.2%増加を目標 【茨城県・埼玉県 共通目標】観光客数 (観光客の増加割合) = (R2及びH30の観光客数 - H26の年間観光客数) / (H26の年間観光客数)	8233千人	8297千人	8331千人
2	うち、茨城県(茨城埼玉交流圏域)においては、観光入込客数を625千人(H26)から631千人(R2)を目標 茨城県の圏域における観光客数 (観光客の増加割合) = (R2及びH30の観光客数 - H26の年間観光客数) / (H26の年間観光客数)	625千人	628千人	631千人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	国道	改築	一般国道125号古河BP	バイパス整備 L=1.4km	古河市						1,400	1.9	-
	A11-002	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	国道	改築	一般国道125号下妻八千代BP	バイパス L=1.0km	下妻市~八千代町						1,000		-
	A11-003	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	国道	改築	一般国道354号古河境BP	バイパス L=1.5km	古河市~境町						1,600		-
	A11-004	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	国道	改築	一般国道354号境岩井BP	バイパス L=1.4km	境町~坂東市						900		-
	A11-005	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府県道	改築	(主)つくば古河線	現道拡幅 L=0.5km	古河市						120		-
	A11-006	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府県道	改築	(主)土浦境線	現道拡幅 L=0.7km	坂東市						149		-
	A11-007	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府県道	改築	(一)猿島常総線	バイパス L=2.0km	坂東市						670		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-008	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府 県道	改築	(主)結城坂東線	バイパス L=2.0km	坂東市						1,250	-	
	A11-009	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府 県道	改築	(主)高崎坂東線	現道拡幅 L=2.1km	坂東市						1,100	-	
	A11-010	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府 県道	改築	(一)幸手境線	バイパス L=0.9km	五霞町						943	-	
	A11-011	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府 県道	改築	(一)新宿新田総和線	現道拡幅 L=1.2km	古河市						600	-	
	A11-012	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府 県道	改築	(主)結城下妻線	バイパス L=0.7km	下妻市						600	-	
	A11-013	提案	一般	茨城県	直接	茨城県	-	-	茨城埼玉交流圏広域観光 推進事業	パンフレットの作成 等	圏域全体						30	-	
											小計						10,362		

A 基幹事業																							
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況				
												H28	H29	H30	H31	R02							
一体的に実施することにより期待される効果																							
備考																							
												合計							10,362				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 土木部道路建設課にて評価を実施。	事後評価の実施時期 令和06年6月
	公表の方法 茨城県ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	道路整備等を行うことで、観光地へのアクセス性を向上し、広域観光の活性化に寄与したと考えられる。 【本事業完成で発現される効果】 ・A11-010：（一）幸手境線のバイパス（R3.3月開通）により、埼玉県の本拠施設である「東武動物公園」から本県の拠点施設「結城紬問屋街」までのアクセス時間が3分短縮され、周遊効率性の向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
未完了の事業については、本計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を推進する。 （未完了事業） A11-001～004、A11-006～009、A11-011	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	拠点施設における観光入込客数 8,331千人（1.2%増）		
	最終目標値	8331千人	拠点施設における観光入込客数は、中間評価年次（平成30年）においては目標値を上回ったが、令和元年度から令和4年度は目標値を下回り、最終目標値を達成することが出来なかった。要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により人流が抑制されたことが考えられる。【茨城県・埼玉県】R4実績値：6,624千人（参考：H26：8,233千人） 出典「観光客動態調査」など
	最終実績値	6624千人	
茨城県の拠点施設における観光入込客数 631千人（1.0%増）			
2	最終目標値	631千人	茨城県の拠点施設における観光入込客数は、平成29年度から令和元年度にかけては目標値を上回ったが、令和2年度から令和4年度は目標値を下回り、最終目標値を達成することが出来なかった。要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により人流が抑制されたことが考えられる。【茨城県】R4実績値：551千人（参考：H26：625千人） 出典「観光客動態調査」（茨城県）
	最終実績値	551千人	